

【2】見守りネットワークの構築

見守りネットワークの構築

(永平寺町)

基礎情報

実施地域 永平寺町全域
実施主体 永平寺町社会福祉協議会
所在地 永平寺町石上 27-27
代表者 会長 永善 信行



活動を始めたきっかけ

地域での課題を早期予防、早期解決、社会的孤立や制度の間の人を考え、地域の福祉力を高めるために始めました。

見守り活動の担い手

地区区長、副区長、自主防災組織、民生委員児童委員、福祉委員など

見守り対象者

子供から高齢者、障がい者、外国人など

活動概要

・区のキーパーソンである区長、または、民生委員児童委員が中心となり、小地域福祉委員会を開催。地域での見守りが必要な人を小地域福祉委員会内で情報を共有しながら、地域での見守り活動をする。小地域福祉委員会では、福祉マップの作成や、安心カード（緊級情報カード）への取り組みなどの活動も行っている。
また、区単位で高齢者や障がい者などの要支援者の要支援者台帳（リスト）を作成も行っている。

見守りが必要な人の把握方法

・小地域福祉委員会内で要支援者マップ、福祉マップを作成し、委員会内で情報を共有し、見守り、声かけ活動をしている。

活動の成果・異変発見事例

住民自身が自分達の地域へのふりかえり、意識が高まり、自分達の地域は自分で見守るという体制ができた。見守りを必要とする高齢者が明確になった。

工夫した点

区長、民生委員児童委員、福祉委員の合同研修を開催し意識を高めてもらった。

事業の財源

H24 年度社協自主財源

課題

個人情報の問題。エリアを自治会単位として推進していたが、個人情報の共有が難しい。

今後の目標

個人情報の提供範囲、活用方法等に検討する。